

# パナマ新聞

2019年 7月号

パナマ日本人学校  
あさだ まさはる

Hola!



## パナマといえば パナマ運河!

こちらへんが、カリブ海（大西洋）です。  
たくさんの船が順番を待っています。



カリブ海側「アグアクララ<sup>こうもん</sup>閘門」です。毎日たくさんのコンテナ船や貨物船が通過しています。

白山小学校のみなさん、お元気ですか? 新潟も暑い日が多くなってきたことと思います。暑さに負けないよう、健康管理に気をつけてくださいね。

さて、パナマといえば、「運河!」というほど有名な「パナマ運河」ですが、知っていますか? 大きなコンテナ船や自動車運搬船、貨物船、客船などが通る全長 80kmの巨大な水路です。また、通行料金ですが、現在最大クラスのコンテナ船では、片道なんと1億円!!!!!!だそうです。

大河津分水旧可動堰建設にたずさわった旧内務省の技術者「青山 士(あきら)」は、パナマ運河の工事に参加して当時の最先端土木技術を学んだ人です。つまり、大河津分水には、パナマ運河の技術と経験が生かされているのです! 運河を通して、新潟とパナマには深い関係があるのです。

